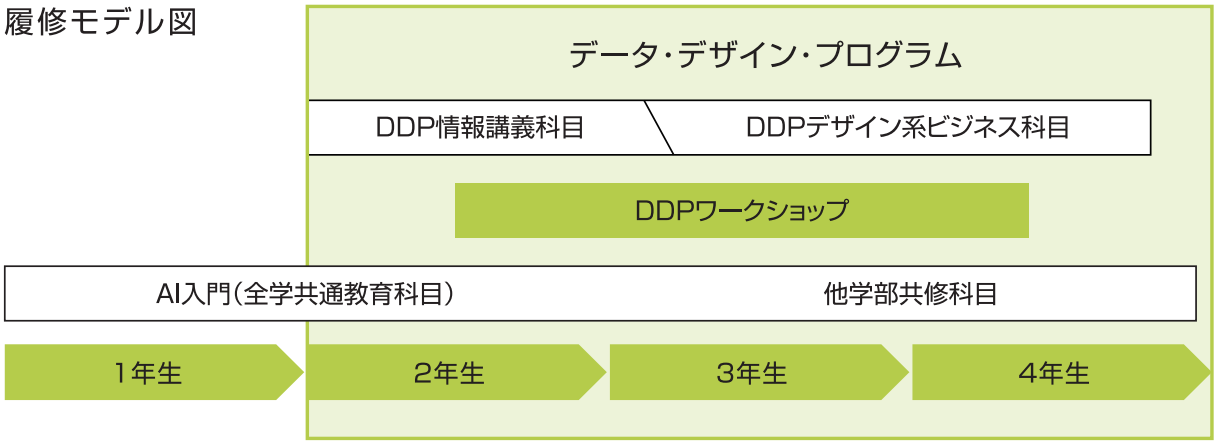
DATA DESIGN
PROGRAM

データ・デザイン・プログラム

技術とビジネスを“情報（データ）”と“デザイン”で連結できる新しいタイプの経営者（デザイン経営者）を育成

商学部のデータ・デザイン・プログラム（DDP）は、技術とビジネスを情報とデザインで連結できる新しいタイプのデザイン経営者を育成し、イノベーション人材を輩出することを目的とした、「コンピュータ・サイエンス」と「デザイン思考」を融合したカリキュラムを構成するプログラムです。参加者は、通常の学部科目と並行して「デザイン経営」や「メディア&サービスデザイン」などのデザイン系科目と、人工知能やプログラミングなどの情報系科目を学びます。２年次からは自分が取り組みたいプロジェクトを選択し、チームで実務課題のワークショップに取り組んでいきます。また、芸術系大学や民間企業と連携した講義やシンポジウム、先進的な海外の大学との連携を提供しており、グローバルレベルで通用する人材育成を目指しています。

履修モデル図



本プログラムは2年生を対象とする30名程度の選抜制の特別プログラムです。商学部以外の学部生も受け入れる学部横断型の構造を持っています。２年生から４年生までの3ヵ年で構成されます。修了者にはサーティフィケートが授与されます。

マーキュリータワー５階にある３つのDDP専用教室は、学生がいつでも気軽にやって来て好きなだけ学習やグループワークに打ち込めるスペースで、両側面の壁にはアイデアを思いついたときに、自由に絵や文字で書けるよう巨大なホワイトボードを設置しています。

DDPサイトはこちら

https://hddp.jp

主な講義

新商品開発基礎

商業的に成功するアイデアは、3000の原案に対して1つとも言われる。新商品開発のフロントエンド、すなわちアイデア創出とコンセプト開発は、曖昧で管理が難しいにも関わらず、その後の商品の成功を運命付ける重要なプロセスである。本講義では、フロントエンドを中心に、創造性開発やプロジェクトマネジメントのための一連の手法や、モチベーション等の心理状態に即したチーム管理等を、実例や学術理論を通して学習する。

デザインの基本

本講義の目的は、「どのようにすれば知識や関心の全くなかった人にデザインを身につけさせることができるのか？」ということである。多摩美術大学教授の永井一史（HAKUHODO DESIGN代表取締役社長）が、多様な実務家をゲストとして招いて講義を構成する。本講義でのデザインとは、製品／サービス全体やそのユーザー接点を設計する行為全般を指す。なぜデザインを学ぶのか？それは、魅力的な製品／サービスかによってユーザーにとっての価値が変わり収益性や企業経営が大きく左右されるからである。また新しい事業を発想する創造性教育としてもデザインは重要である。

デザイン思考とデザイン経営

「デザイン思考」と「デザイン経営」の「なぜ」を理解することに主眼を置く。ビジネス、政策の現場での流行語の一つとなっているこの2つの考え方について、その実践例や実践手法についてはたくさんの情報が溢れている。しかし、それがなぜ有効なのかはほとんど探求されていない。この講義では「デザイン思考」「デザイン経営」の一歩先を歩むことになるであろう皆さんが、その方法を考えていくための理論的な手がかりと、考える素材を提供する。

ワークショップ

本ワークショップでは、履修生がいくつかのグループを形成し、自ら課題を発見し、その解決の提案や提案を具現化するためのプロトタイピングを行うことを通じ、課題解決能力を育成していく。その実施においては、データの活用と、デザイン的発想の活用を重視する。また、本授業を通じて、課題発見から課題解決までの一連の流れを理解し、その実施に向けた基礎的能力を身に付けることを目的とする。

情報系講義科目（必修科目）

- 情報科学・統計基礎※
- プログラミング実践※
- 新商品開発基礎
- AI入門

データ・デザイン・ワークショップ（必修科目）

- 年次ワークショップ

デザイン系・ビジネス系科目（選択科目）

- デザインの基本
- メディア＆サービスデザイン
- デザイン思考とデザイン経営
- マーケティング・コミュニケーション
- 特別講義「社会課題の解決」
- 特別講義「デザイン・リサーチ」
- 特別講義「情報技術経営のフロンティア」

他学部共修科目

- 経済学のための実践的データ分析
- テクノロジーとリーガル・イノベーション
- 量的データ解析法I
- 人類学概論

（※ ソーシャル・データサイエンス学部については特例あり）

企業協働型研究プロジェクト

企業や自治体とともに、多彩な研究プロジェクトを展開中!

このDDPプログラムは、本学の全学生が受講できます。これまでに累計120名の学生がプログラムを受講しています（2024年4月時点）。本学では国内の金融業界や商社への就職を目指す学生が多かったものの、近年は外資系企業やコンサルティングファーム、起業を志望する学生も増加し、卒業後に即戦力として活躍するための手法習得を目的にDDPで学び、企業協働プロジェクトに参加し社会課題の解決に取り組んでいます。

経営管理研究科　データ・デザイン研究センター長
鷲田 祐一 教授

■ 修了要件

【1】 商学部に設置するプログラムとし、期間は2年次から4年次までの3年間とする。

【2】 DDP科目群から必須科目16単位、選択科目10単位、計26単位を取得することとする。修了者には、卒業時にデータ・デザイン・プログラム修了証が授与される。

【3】 留学や休学等による履修の休止は可とする。留学先で履修した科目との単位互換はありうるが、本プログラムの修了要件には含めないものとする。

■ DDP生の声

3期生　藤田さん

DDPで学ぶ「デザイン思考」は、AIには越えられない領域であると考えています。今後、新しい枠組みやプロダクトを生み出す中で、ユーザーの視点に立ったデザインを通じて、人々の生活に実際に役立つ価値を提供し、豊かな体験を創出していきたいです。

3期生　磯角さん

実践的な授業でアイデアを形にする経験が多く、自由にのびのびと楽しみながら学んでいます。DDPを通して得たデータとデザインという新しい視点と、自分の手を動かしてチャレンジする環境を生かして、将来自分に何ができるか考える日々を送っています。

2期生　長田さん

データ活用、テクノロジーへの理解が今後ビジネスをする上でより一層不可欠なものになります。DDPを通じて得ることのできる知識と経験を活かして、世の中に新たな価値を提供できる人材になりたいです。

■ 連絡先

E-mail：ddp-info@cm.hit-u.ac.jp

〒186-8601　東京都国立市中2-1　一橋大学

第2研究館7階709
データ・デザイン・プログラム事務局
高橋・肥後　　Tel：042-580-8727

第2研究館1階106　商学研究室
長谷部　　Tel：042-580-8561

■ 第5期生：2025年度募集日程

◆ **出願要項の公開**
2024年11月27日(水) 学内説明会

◆ **出願期間**
2024年12月2日(月)～2025年1月6日(月)

◆ **第1次審査(書類選考)**
2025年1月7日(火)～8日(水)

◆ **第1次審査合格者の発表**
2025年1月10日(金)

◆ **第2次審査(面接試験)**
2025年1月16日(木)

◆ **最終合格者の発表**
2025年1月23日(木)

■ 募集要件

【1】 募集人数は約30名とし、全学部1年生が応募可能とする。合格者の目安は、およそ3分の2（20名）を商学部生、3分の1（10名）を他学部生と想定する。

【2】 選考は提出書類に基づき第1次審査（書類選考）を行い、第1次審査合格者を対象に第2次審査（面接試験）を行う。提出書類、面接試験、成績を総合して最終合格者を決定する。

【3】 提出書類は、参加願および志望理由書（エッセイ）とする。推薦書は不要とする。

【4】 渋沢スカラープログラムや、他学部GLPとの併願は不可とする。

DATA DESIGN
PROGRAM